

牧田文化祭協賛

— 大阪・関西万博フランス館特別イベント —

# MOF 職人作品展

とき 令和7年11月9日(日)

9:00~15:00

ところ 旧牧田小学校木造校舎

(大垣市上石津町牧田 2672)

大阪・関西万博フランス館で  
MOF 職人が製作した作品を  
展示します。



9月27日市長とMOFメンバーとの集合写真(フランス館にて)

MOF MUSEUM NAGOYA



ホームページ QR コード

お問い合わせ先／大垣市上石津地域事務所地域政策課 電話 0584-45-3113

ぜひご来場ください

## フランス国家最優秀職人章(MOF)とは

フランス国家最優秀職人章(Meilleurs Ouvriers de France 、MOF)はフランス文化の最も優れた継承者たるにふさわしい高度な技術を持つ職人に授与される称号。

その歴史は 1913 年、美術評論家であり、ジャーナリストでもあったフランス人 Lucien KLOTZ (1876-1946)がフランスの伝統工芸技術を保護し、その発展を図ろうと運動を始めたことにさかのぼる。

展示会を定期的に開催し、優れた技術者を表彰することを考え、政府、業界の有力者に働きかけたが、第一次世界大戦の勃発で中断。戦後、政府の支援を得て活動が再開され、1924 年に第 1 回手工芸大展示会が開催された。対象となる職種は宝飾品、工芸品、ガーデニングから料理や菓子に至るまで幅広く、フランス人の Art de Vivre(生活芸術)の精神にふさわしく、その数は約 180 職種に及ぶ。

日本人では 1974 年に辻静雄が初めて名誉賞を受賞、1986 年に理容師の吉野泰央が初めて本受賞する。現在日本人は、バイオリンの製作に関して 笹野光昭、菓子部門賛助会員の美ノ谷靖夫、帽子職人部門の日爪ノブキが認定されている。

M.O.F.のコンクールは、3 年に一度開催され、合格者にはエリゼ宮にてフランス大統領名で M.O.F.のメダルが授与される。料理・菓子などについてはトリコロールカラー(三 色旗色)襟のコックコートの着用が認められる。(現在日本人では美ノ谷氏のみが着用を許されている。)

